

## 第5学年 社会科学習指導案

### 1 小単元名 「情報を伝える○○○新聞」

### 2 指導観

#### (1) 子ども研究から見えたもの

- 下のアンケート結果から、資料を読むことに対して70%の子どもたちが楽しいと感じている反面、30%の子どもたちが困難を感じていることが明らかとなった。

① 資料を読んで調べることは難しい	7 / 40人 (17.5%)
② 資料を読んで調べることは楽しい	28 / 40人 (70%)
③ 資料を読むことは得意	16 / 40人 (40%)
④ 資料を読むことは得意とも苦手ともいえない	12 / 40人 (30%)
⑤ 資料を読むことは苦手	12 / 40人 (30%)

資料を読み取る技能について、子どもたちは写真や文章から事実を個別に見つけ出すことができる。また、グラフから個別の数値や全体の傾向を読み取る力も伸びてきている。しかしながら、複数の資料を比較したり関連させたりして情報を読み取ることに対して、困難を抱えている子どもが多い。さらに、新聞を購読している子どもの数は26人(65%)であり、新聞の見出しや構成などの知識をもたない子どもは半数近くに上っている。このような、資料から事実を読み取る技能の不十分さゆえに、自分の考えを確かめる資料を収集する技能も十分であるとは言えない。

#### (2) 教材の価値・意義

- 本小単元では、学習指導要領解説社会編内容(4)「情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であること」を考えさせるために、子どもたちの購読率が最も高い○○○新聞を取り上げる。○○○新聞社では、速報性や地域性を大切にして(○○○新聞社『今日の新聞読んだ?』)、多種多様な情報を収集し、選択・加工しながら発信している。また、受け手であるわたしたちには、多種多様な情報を活用するために正しい判断が求められる。この2点を追究するためには、新聞はもとより、グラフや地図、文章などの資料活用が必要となる。情報化した社会を主体的に生きる力を育むだけでなく、基礎的・基本的な知識・技能を身につけさせるうえでも、本小単元は価値ある教材である。

#### (3) 指導・支援の方法

##### 【つかむ段階】

- ・ 情報への関心を高めるために、身の回りのメディアや新聞の仕組みを調べさせる。
- ・ 2つの新聞記事の違いに気づかせるために、見出しや記事の大きさに着目させる。

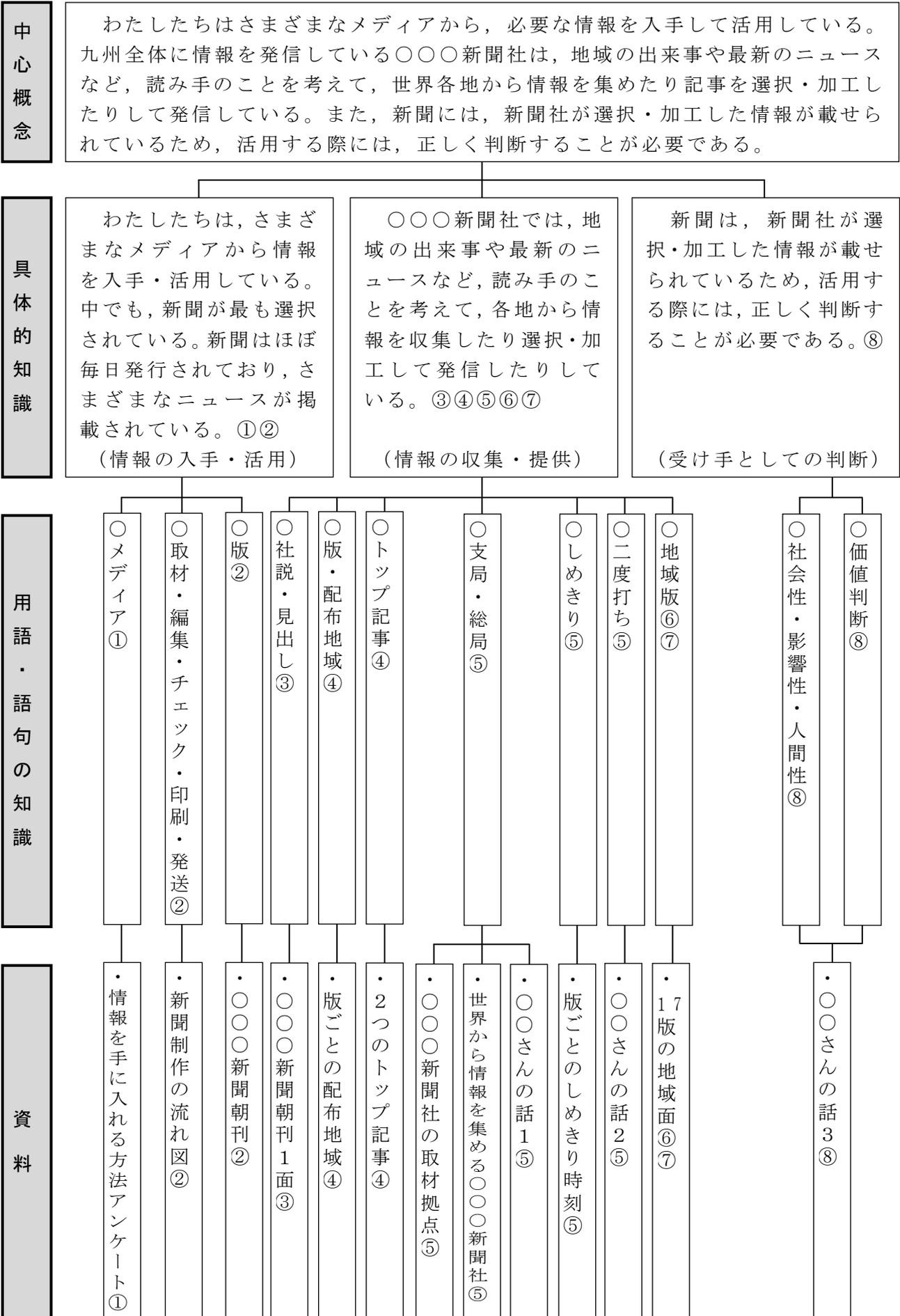
##### 【さぐる段階】

- ・ 学習問題の答えを予想させるために、出来事の前後や記事の文字数を比べさせたり、地図と関連させたりする。
- ・ 資料を読み取る技能を高めるために、予想や活用した資料別のグループで中間交流を行い、確かめた事実や資料の読み取り方を交流させる。

##### 【まとめる段階】

- ・ 新聞社が価値判断した情報が新聞には掲載されていることに気づかせるために、全体交流ではそれぞれの考えをつなぐ共通点を検討させる。
- ・ 情報の受け手としての正しい判断の必要性を考えさせるために、資料をもとに、新聞社が価値判断した情報が新聞には書かれていることをふり返らせる。

### 3 単元構造図



4 指導計画（11時間）

段階	主な学習活動と内容（○）資料（・）	身につけさせたい技能	留意点（□）及び評価規準（※）
つかむ	<p>1 身の回りのメディアについて話し合う。①</p> <p>○さまざまな方法で情報を入手していること</p> <p>○新聞が最も活用されていること</p> <p>・情報を手に入れる方法アンケート</p> <p>2 新聞の仕組みを知る。②</p> <p>（1）新聞制作の過程を知る。</p> <p>・新聞制作の流れ図</p> <p>（2）○○○新聞を観察して、気づきや疑問を出し合う。</p> <p>○見出しの文字が工夫されていること</p> <p>○深夜の出来事が掲載されていること</p> <p>・○○○新聞朝刊</p> <p>3 2つの新聞を見比べて、学習問題をつくる。③</p> <p>（1）○○○新聞からの気づきを話し合い、新聞の特徴をとらえる。</p> <p>○社説や写真があること</p> <p>○発行がほぼ毎日であること</p> <p>・○○○新聞朝刊1面</p> <p>（2）2つの新聞を比べて、学習問題をつくる。</p> <p>○版によって、内容が異なっていること</p> <p>・15版と19☆版</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題</p> <p>なぜ○○○新聞社では、同じ日付の新聞を2つも作っているのだろうか。</p> </div> <p>4 学習問題の答えを予想・交流して、学習計画を立てる。</p>	<p>・棒グラフに示された複数の数値を比較したり関連させたりして、数量の多少や順位を明らかにすることができる。【グ】</p> <p>・順序に注目して、図から流れを読み取ることができる。【図】</p> <p>・写真中の人物や背景に着目して、人物の行為や時刻を読み取ることができる。【図】</p> <p>・見出しや記事の時刻に着目して、記事の内容を読み取ることができる。【文】</p> <p>・新聞記事の見出しや写真から、紙面の構成をとらえることができる。【文】</p> <p>・2つの新聞記事を比較して、共通点や相違点に気づくことができる。【文】</p>	<p>※情報入手の方法についての数値を比較したり、順位を明らかにしたりしている。【技】</p> <p>□複数の数値を関連づけさせるために、「どちらが」「どのくらい」多いかという視点を提示する。</p> <p>□順位を明らかにさせるために、棒グラフの長さに着目させる。</p> <p>※見出しや記事に着目して、記事の内容を読み取っている。【技】</p> <p>□新聞への関心を高めるために、一人1部ずつ○○○新聞朝刊を配布するとともに、「見出し」「時刻」などの視点を与えて、新聞を観察させるようにする。</p> <p>※学習問題を自分の言葉で表現している。【思】</p> <p>※追究への意欲を高めている。【関】</p> <p>□一人ひとりに学習問題を文章化させるために、書き出しを与える。</p> <p>※資料から読み取ったことをもとに、確かめる</p>

<p>ぐ る</p>	<p>予想を交流し，学習計画を立てる。④</p> <p>(1) 資料から，予想をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞制作の流れ図</li> <li>・版ごとの配布地域</li> <li>・2つのトップ記事</li> <li>・石川選手の記事</li> </ul> <p>(2) 予想を交流して，学習計画を立てる。</p> <p>&lt;子どもの予想&gt;</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◇ 地域に合わせて，記事を変えているから。…かどうかを確かめる。</p> <p>◇ 最新のくわしいニュースが入ってきたから，あとで記事を変えたから。…かどうかを確かめる。</p> </div> <p>5 学習計画に沿って，資料を使って予想を確かめる。⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○○新聞社の取材拠点</li> <li>・世界から情報を集める○○○新聞社</li> <li>・○○さんの話①(取材拠点)</li> <li>・版ごとのしめきり時刻</li> <li>・編集記者の仕事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真中の人物や背景に着目して，人物の行為や時刻を読み取ることができる。【図】</li> <li>・地図から，偏りや分布を読み取ることができる。【地】</li> <li>・記事の日付から，出来事の前後を捉えることができる。【文】</li> <li>・文字数や記事の大きさを比較して，記事の違いをとらえることができる。【文】【図】</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図から，偏りや分布を読み取ることができる。【地】</li> <li>・地図から，偏りや分布を読み取ることができる。【地】</li> <li>・インタビューから，必要な情報を抽出することができる。【文】</li> <li>・表に示された複数の数値を対応させて，情報を読み取ることができる。【図】</li> <li>・文章から，必要な情報を抽出することが</li> </ul>	<p>こと(予想)を表現している。【思】</p> <p>□日付の前後に焦点化させるために，「2つのトップ記事」の記事冒頭を別提示する。</p> <p>□文字数や記事の違いに焦点化させるために，文字数を別提示したり，記事を囲むことで視覚的にとらえやすくしたりする。</p> <p>■追究活動に必要な比較や関連の視点を子どもたちが獲得できるように，「日付(数字)」「記事の大きさ」といった視点を提示する。</p> <p>※根拠を明らかにしながら予想を伝えたり，調べて確かめることを明確にしたりしている。</p> <p>【思】</p> <p>□資料の読み取り方を確かめさせるために「資料の読み方」と「学習問題とのつながり」を分けて交流させる。</p> <p>※資料を読み取って，予想を確かめる事実を収集している。【技】</p> <p>□視点ごとに資料コーナーをつくり，子どもたちが資料を読む視点をもちやすくする。</p>
----------------	--	--	---

<p>本 時</p> <p>ま と め る</p>	<p>・○○○新聞社と製作センターの位置</p> <p>・○○○さんの話②(二度打ち)</p> <p>・石川選手の記事</p> <p>6 中間交流を行い、学習問題の答えをつくる。⑥</p> <p>(1) 確かめた事実と資料の読み取り方について話し合う。</p> <p>(2) 新たな資料から、予想を確かめる事実を読み取る。</p> <p>・17版の26・27面</p> <p>・支援金の金額が決定したことを伝える新聞記事</p> <p>(3) 学習問題の答えをつくる。</p> <p>7 全体交流を行い、学習問題の答えを見直す。⑦</p> <p>(1) 予想別に考えと根拠を主張する。</p> <p>(2) 考えの共通点を見出し、学習問題の答えを見直す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>見直した学習問題の答え</p> <p>○○○新聞社は、地域の出来事や最新のニュースなど、読み手のことを考えて情報を選択・加工している。そのために、しめきりぎりぎりまで記事を変更している。だから○○○新聞社では、2つも新聞を作っている。</p> </div> <p>8 情報の活用について話し合い、学習をまとめる。⑧</p> <p>(1) 情報の活用の仕方について話し合う。</p>	<p>できる。</p> <p>・地図から、偏りや分布を読み取ることができる。【地】</p> <p>・インタビューから、必要な情報を抽出することができる。【文】</p> <p>・「 」に着目して、2つの新聞記事の違いをとらえることができる。【文】</p> <p>・文章と地図を関連させて、記事の内容と地域が合致していることをとらえることができる。【文】【図】</p> <p>・2つの新聞記事を比較しながら、数値や記事の分量の違いを読み取ることができる。【文】</p>	<p>※交流で提示された資料や新たな資料を読み取っている。【技】</p> <p>□すべての子どもが交流の流れをつかむことができるように、進め方モデルを提示する。</p> <p>■比較したり関連させたりしながら新たな資料を読ませるために、交流した資料の読み取り方をふり返らせるようにする。</p> <p>※見出した共通点を踏まえながら、学習問題の答えを見直している。</p> <p>【思】</p> <p>□新たに加わった知識や自分の考えの変容を表現できるように、書き方モデルを提示する。</p> <p>※○○○新聞社が、読み手を考えた価値判断を行いながら、情報を選択・加工していることを理解している。【知】</p> <p>※情報がわたしたちの生活に欠かせないものであることや、情報の正しい活用が大切である</p>
---	--	--	---

	<p>○新聞社が価値判断した情報で新聞は構成されていること</p> <p>・〇〇さんの話③(価値判断)(2)学習したことを作文にまとめる。</p>	<p>・インタビュー資料から、必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>【文】</p>	<p>ことを理解している。</p> <p>【知】</p>
--	---	---	------------------------------

## 5 単元目標

- 身の回りの情報に関心をもち、〇〇〇新聞社の新聞制作について意欲的に追究することを通して、情報産業の発展や情報の有効な活用について考えようとしている。  
(関心・意欲・態度)
- 〇〇〇新聞社の新聞制作について、学習問題や予想、学習計画を表現したり、調べたことをもとに、情報産業と国民生活の関わりについて考えたことを適切に表現したりすることができる。  
(思考・判断・表現)
- 身の回りの情報入手の方法や〇〇〇新聞社の新聞制作について、グラフや地図、図表、文書資料などを活用して調べることができる。  
(観察・技能)
- 〇〇〇新聞社が、速報性や地域性などの読み手のことを考えた価値判断を行いながら情報を発信していることを通して、情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性について理解することができる。  
(知識・理解)

## 6 本時(8/11)

平成〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 〇校時

## 7 本時の目標

- 交流活動の中で提示された資料や、新たに提示された資料から、自分の考えにつながる情報を読み取ることができる。  
(観察・技能)

## 8 本時指導にあたって

前時までには子どもたちは、予想を確かめるための追究活動を通して、資料の読み取りを行ってきた。本時は、確かめた事実の交流や新たな資料の読み取りを通して、一人ひとりが資料活用の技能を高めたり、新たな知識を獲得したりすることをねらいとしている。

このようなねらいを達成するために、以下のような手立てをとる。

(交流活動において)

- 考えを高める交流活動を活発化するために、同じ予想で追究した子ども同士でグルーピングする。また、一人ひとりが新たな資料に触れることができるように、追究活動で活用した資料が異なるようなグルーピングを行う。
- グループ内で資料の読み取り方を共有させたり、資料を読み取る技能を高めたりするために、根拠となる資料や資料の読み取り方を話し合う活動を設定する。  
(新たな資料の提示において)
- 一人ひとりの考えを高めるために、予想を確かめることができるような資料を新たな資料として提示する。
- 本時で活用した資料の読み取り方を明らかにさせるために、書き方モデルを提示して「今日の学習で」を書かせる。

9 本時の展開

主な学習活動と内容 (○)	留意点 (□) 資料 (『 』) 評価 (※)
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 資料の読み方をグループで話し合っ て、学習問題の答えをつくろう。</p> </div>	<p>□ 前時までの学習プリントや資料をふり 返り、本時のめあてにつなぐ。</p>
<p>2 同じ予想のグループで、資料の読み方 を交流する。</p> <p>(1) 予想と確かめた事実を伝える。</p> <p>(2) 資料の読み取り方を話し合う。</p> <p>○ 提示された複数資料から、事実につ ながる資料を探し出す。</p> <p>○ どう読んだのかを一人ずつ伝える。</p>	<p>□ すべての子どもが交流の進め方をつか むことができるように、進め方モデルを 提示する。</p>
<p>3 新たな資料を読み、学習問題の答えを つくる。</p> <p>(1) 新たな資料を読み、分かったことと 考えたことを書く。</p> <p>(2) 新たな資料から考えたことを通して、 学習問題の答えをつくる。</p>	<p>□ 「最新」グループに対して、数値が更 新されていることや記事の分量が増えて いることから考えを高めるために、15 版と19☆版の記事を提示する。 『支援金の金額が決定したことを伝える新 聞記事』</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題の答え(「最新」の子ども) はじめは、2つのトップ記事の日付が ずれているから、あとから入ったニュー スを伝えるために、また新しく新聞を作 ったのだと考えていました。</p> <p>○○さんはしめきり時刻の資料を使 っていて、先生の資料では記事の数字が 変わっていました。やっぱり、最新のニ ュースが入ったから、記事を新しくして いるのだと思いました。</p> <p>だから、学習問題の答えは、やっぱり あとから入ったニュースを伝えるため に、新しく新聞を作ったからだと思いま す。</p> </div>	<p>※ 15版と19☆版から、数値が更新さ れていることを読み取ることができてい る。【技】「最新」</p> <p>□ 「地域」グループに対して、配布地域 に合わせた特集を掲載していることから 考えを高めるために、15版の地域面を 提示する。 『15版の26・27面』 『版ごとの配布地域』</p> <p>※ 15版の地域面から、配布地域に合わ せた特集が掲載されていることを読み取 ることができている。【技】「地域」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日の学習で(「最新」の子ども) ○○さんが、しめきり時刻の資料で、 時間のずれから最新のニュースがある という読み方をしている、なるほどと思 いました。</p> <p>○○さんが、先生の資料で、わたしと 同じように数字が変わっているところ に目をつけていて、この読み方で良かつ たのだと思いました。</p> </div>	<p>□ 新たに獲得したり高めたりした資料の 読み取り方が明らかになるように、以下 の書き方モデルを提示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○○さんが ○○の資料で (わたしと同じように) ○○という読み方をしている…と思 いました。</p> </div>

# 支援金の金額が決定したことを伝える新聞記事

15版の3面



19☆版の1面



## カネミ（カネミ油症）とは

体に悪いものが入った食品油によって、福岡県や長崎県などで、たくさんの人たちの健康に大きなひがいが出た事件です。

ひがいを受けた人たちへの支援金をいくらかりにするのか、話し合いが行われていました。

## 本資料における「身につけさせたい技能」

- ・ 2つの新聞記事を比較しながら、数値や記事の分量の違いを読み取ることができる。

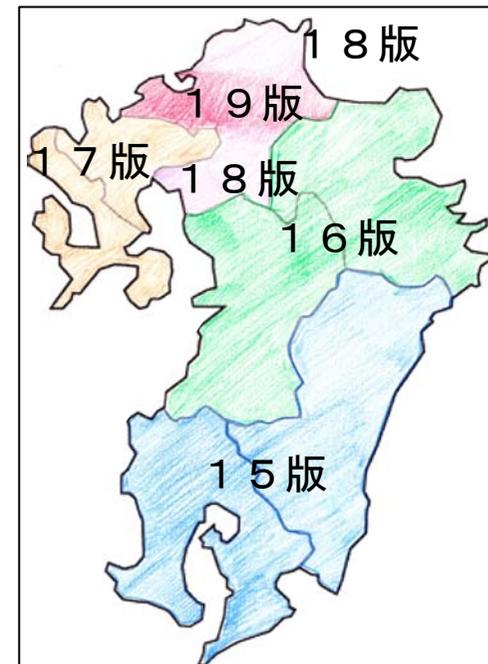
### 【指導計画6（2）】

- ① 数値が更新されていることを読み取ることができたか。
- ② 記事の分量が増えていることを読み取ることができたか

# 17版の26・27面



## 版ごとの配布地域



### 本資料における「身につけさせたい技能」

- ・ 配布地域と関連させて、記事の内容と地域が合致していることをとらえることができる。【指導計画6(2)】
  - 長崎県に配布される新聞が17版であり、26・27面に長崎県に関する記事が掲載されていることを読み取ることができたか。